

清流のほとり



令和6年7月1日(月)発行

園長 津田 将美

寄 松田

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

反省

「自分のしてきた言動をかえりみて、その可否を改めて考えること。」
 「自分のよくなかった点を認めて、改めようとする。」
 「反省」という言葉を調べると、大辞泉には上のように書かれています。人は得てして自分の過ちから目を背けたくなるものですが、人として正しく生きていく上で、常に自分をかえりみて、より良く生きていこうとすることは、とても大切なことだと思います。

松田幼稚園では毎朝打ち合わせの中で、日案(その日にどのような保育・支援を行っていくかの案)の共有を行っています。前日の子どもたちの様子、興味・関心、課題、行ってきた支援等をふり返りながら、その日の目標と力を入れたいこと、環境構成の工夫などを丁寧に話し合い、支援の方向性を確認しています。その中で、しばしば「反省」という言葉が出されます。



今年度の園内研究の重点は「環境構成の工夫」です

私は子どもたちと向き合っている中で、「反省」という言葉を躊躇なく出せる姿勢がすばらしいと感じています。

保育、教育というものは、子どもを相手にしている以上、思い通りに行かないことが多いです。いや、思い通りに行かないことの方が多いのです。そんな中で、そのことを決して子どもたちのせいにはせず、自分の支援方法をふり返ろうとする松田幼稚園の職員を、私はとても信頼しています。そしてその姿勢は教師としてだけではなく、自分自身の人としての成長につながっているものだと感じています。

反省しながら、自分の支援方法を常に見返していく先生
 そんな先生に支えられながら、伸び伸びと自分らしさを発揮する子どもたち
 その子らしさが重なり合い、互いに良さを磨き上げる教室
 日々子どもたちの笑顔や成長に、幸せややりがいを感じる先生
 そしてまた、反省を繰り返しながら一歩ずつ進んでいく
 松田幼稚園は、そんな素敵な場所です。

保育公開日に各学年でお話させていただきましたが、そんな環境の中で園長も日々反省をしながら、自分の子どもたちへの接し方を見直しているところです。最近は園舎を回ると、手を握って一回転する「グルリンパ」を一緒に楽しんでいます。クラスの活動にはなるべく影響がないように気を付けているのですが…。

「園長先生、もう1回、やって!!」
 「先生が『おかたづけ』って言うているから、あと1回ね。」
 「うん!!」
 「うわっ、じゃあ、もう1回!!」
 「やっぱり、あと1回!!」
 「…じゃ、ほんとに、あと1回だけだよ…」

反省は尽きることがありませんが、反省こそ次への一歩と前向きにとらえていきたいと思っています。

